

報道機関各位

財団法人東北活性化研究センター  
「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成24年2月東北分  
(新潟を含む東北7県)」について

財団法人東北活性化研究センター（会長：高橋宏明・東北電力㈱取締役会長）は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成24年2月東北分(新潟を含む東北7県)」についてとりまとめましたのでお知らせいたします。

【基調判断】

●今月の基調判断…東北地域の景気は

「東日本大震災の影響があるなか、持ち直しの動きは緩やかになっている」

(据え置き)

- ・一部で引き続き震災復興関連の動きがみられるほか、高額品や新車販売に動きがみられるものの、気温の低下と降雪が、客足や売上、春物の立ち上がりに影響している。一方、先行きは復興関連の需要に加え、年度替わりの季節需要や補助金効果による新車販売の拡大に期待があるものの、消費税増税論議や製造業における受注環境の不透明感、復興関連での人手不足など懸念材料もある。このことから、総合的には東日本大震災の影響があるなか、持ち直しの動きは緩やかになっていると判断される。

【調査結果のポイント】

(1) キーワード

- ・プラスのキーワード  
…復興需要（現状、先行き）、エコカー補助金（現状、先行き）、天候（先行き）
- ・マイナスのキーワード  
…低価格志向・買い控え（現状、先行き）、天候（現状）、為替（現状）

(2) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

- ・現状判断DI「47.2」（▲0.1）は、4か月連続で前月を下回ったものの、ほぼ横ばいである。また、景気判断の基準となる50を4か月連続で下回った。
- ・家計動向は、一部で復興需要や高額品に引き続き動きがみられるほか、補助金の効果や駆け込み需要で新車販売に動きがあるものの、低価格志向や買い控えの傾向は根強く、気温の低下と降雪が客足や売上、春物の立ち上がりに影響している。DIは「43.0」（▲0.9）と4か月連続で前月を下回り、景気判断の基準となる50を7か月連続で下回った。
- ・企業動向は、一部業種で降雪や寒さが販売に影響している。一方、製造業では円高の影響が尾を引いているものの、一部では為替相場の戻りにより輸出環境が改善してきているほか、復興関連の短期的な受注増加がみられる。また、建設や住宅、飲食などでは震

災復興関連の動きが続いている。DIは「51.2」(+1.2)と2か月ぶりに前月を上回り、景気判断の基準となる50を9か月連続で上回った。

- ・雇用動向は、一部の製造業で円高の影響などから雇用調整の動きがあり、採用意欲にも弱さがうかがえるなど雇用環境に目立った改善はみられないが、建設や飲食など震災復興関連を中心とした求人の動きは堅調で、人手不足の状況もみられる。DIは「66.7」(+2.4)と2か月ぶりに前月を上回り、景気判断の基準となる50を8か月連続で上回った。

### (3) 先行き判断(3か月先の見通し、方向性)

- ・先行き判断DI「50.4」(▲0.5)は、3か月ぶりに前月を下回ったものの微減で、景気判断の基準となる50を2か月連続で上回った。
- ・家計動向は、震災の影響からの改善や反動増、復興関連の需要に加え、年度替わりの季節需要や補助金効果による新車販売の拡大に期待がある。一方、低価格志向や買い控えの傾向から価格競争は厳しさを増すほか、風評被害への対応や消費税増税論議等に対する懸念から、先行き不透明感もうかがえる。DIは「48.2」(▲0.2)と2か月ぶりに前月を下回り、景気判断の基準となる50を22か月連続で下回った。
- ・企業動向は、製造業で受注環境に先行き不透明感があるなど業種によって厳しさがうかがえる。一方、震災から1年が経過し、経済活動は落ち着きを取り戻していくとの見方があるなか、建設や住宅、飲食などでは引き続き震災復興関連による堅調な動きが見込まれる。DIは「54.9」(+0.6)と4か月連続で前月を上回り、景気判断の基準となる50を3か月連続で上回った。
- ・雇用動向は、復興関連を中心に建設等で引き続き求人が見込まれるものの、人手不足で必要な人材が確保できない状況もみられ、復興の動きにブレーキがかかることに懸念が示されている。また、製造業における雇用調整の動きなど、円高の影響が続くことが懸念されている。DIは「56.0」(▲4.7)と3か月ぶりに前月を下回ったものの、景気判断の基準となる50を10か月連続で上回った。

以上

#### <添付資料>

- 調査結果の概要

#### <お問い合わせ先>

財団法人 東北活性化研究センター(担当:木村)  
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10  
TEL:022-222-3394 FAX:022-222-3395

## 【調査結果の概要】

### 1. 今月の基調判断

景気ウォッチャーの判断によれば、東北地域の景気は、東日本大震災の影響があるなか、持ち直しの動きは緩やかになっているとのことである。

### 2. 今月のDI※

#### (1) 現状判断（方向性）DI

3か月前との比較である現状判断DIは、「47.2」（▲0.1）と4か月連続で前月を下回ったものの、ほぼ横ばいである。また、景気判断の基準となる50を4か月連続で下回った。

	23年												24年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
東北現状	42.8	48.9	16.8	23.5	35.7	52.8	59.5	49.9	47.8	50.4	49.8	49.6	47.3	47.2
家計動向関連	40.0	48.2	15.3	25.2	36.6	52.3	59.6	46.6	44.4	48.9	48.4	46.7	43.9	43.0
企業動向関連	44.5	50.0	18.2	23.1	36.5	59.9	57.5	52.5	52.6	50.0	50.6	51.3	50.0	51.2
雇用関連(参考)	57.1	51.2	23.8	13.6	28.6	42.9	63.1	66.7	60.7	60.7	57.1	65.5	64.3	66.7

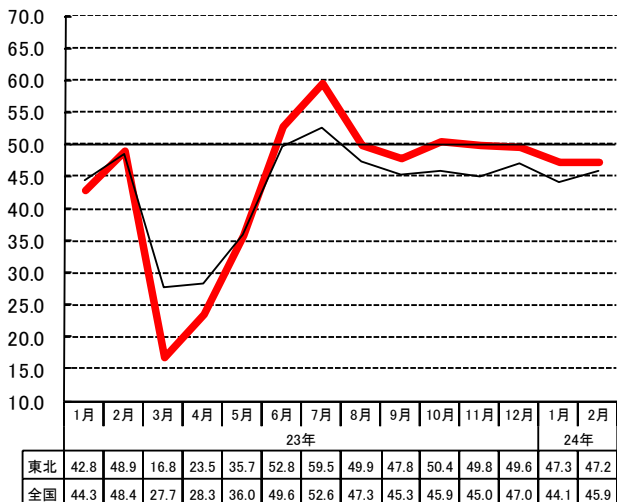
#### (2) 先行き判断DI

3か月前を予想する先行き判断DIは、「50.4」（▲0.5）と3か月ぶりに前月を下回ったものの微減で、景気判断の基準となる50を2か月連続で上回った。

	23年												24年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
東北先行き	47.9	47.6	21.1	36.7	45.4	49.2	51.0	48.6	46.7	49.4	46.6	47.2	50.9	50.4
家計動向関連	47.5	47.4	20.7	36.1	43.5	47.1	47.4	45.4	45.3	49.6	45.7	44.3	48.4	48.2
企業動向関連	47.6	46.2	19.6	39.1	47.3	53.3	56.3	54.4	49.3	45.6	46.3	51.3	54.3	54.9
雇用関連(参考)	51.2	51.2	26.2	36.4	54.8	56.0	64.3	59.5	51.2	54.8	53.6	58.3	60.7	56.0

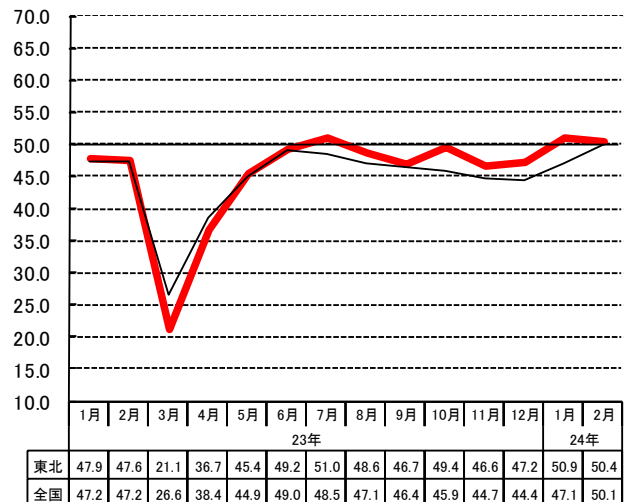
※DI（Diffusion Index）について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。

現状判断DIの推移



— 東北 — 全国

先行き判断DIの推移



— 東北 — 全国

### 3. 調査の概要

調査期間 平成24年2月25日～29日

回答者数 198/210名、回答率94.3%（全国1,858/2,050名、90.6%）

#### 4. 特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

##### （1）現状判断理由

###### ○「良くなっている」

（衣料品専門店）…例年よりも寒いため、コートの需要が途切れずに動いていることに加え、礼服が非常に動いている。結婚式のためや、東日本大震災の合同慰霊祭や一周忌を前に、若い人、お年を召した人など年齢に関係なく、礼服を新たに購入する人が多くなっている。

（新聞社〔求人広告〕）…広告出稿に関して、住宅や車両、観光旅行など限られた業種では、明らかなプラスの動きがみられる。

###### ○「やや良くなっている」

（百貨店）…震災後、顧客の購買の動きは食、住、衣の順番で回復してきたが、ここにきて美術、呉服、宝飾品といったぜいたく品にも動きが出てきており、売上を底上げしている。

（コンビニ）…販売の伸長率は落ち着きつつあるものの堅調に推移している。例年は苦戦する2月も、今年は節分の丸かぶり寿司やバレンタインのチョコも前年以上の動きを見せ好調である。また、買上点数も上昇している。

（乗用車販売店）…エコカー補助金の復活に加え、エコカー減税延長後の対象から漏れる車種については適用終了も間近ということで、駆け込み需要が出てきている。

（一般機械器具製造業）…自動車部品については、受注量がやや増加してきていることに加え、為替相場の戻りにより、輸出環境が改善してきている。

（コピーサービス業）…復興関連でコピーサービスの需要が増えており、民間の中小企業の受注量がこのところ安定してきている。来客数も同様に増えている。

（人材派遣会社）…建築業や飲食店を中心に人が足りない状況になっているが、先月よりもその傾向が強まっている。

（新聞社〔求人広告〕）…求人数は前年並みの推移であるが、地元企業の募集が流通を中心に少しずつ増えてきている。

（職業安定所）…新規求人数は2か月連続で増加し、有効求人倍率も0.89まで改善している。また、新規学卒者の求人も前年同月比で増加に転じている。

###### ○「変わらない」

（カメラ販売店）…高額商品の販売が好調で来客数も増加傾向にある。販売量、売上も共に上向きで推移している。

（百貨店）…冬物の最終処分と春物の展開の狭間のなかで、全体的には動きが鈍い感があったものの、前半はバレンタインデーや仏事の返礼ギフト、後半は異動や退職に伴う記念品や返礼ギフトといったギフト需要の動きが目立っている。

（スーパー）…1月後半から2月中旬までは、豪雪により、大型店では週末のまとめ買いで売上が好調となっている。一方、小型店では、道路事情が悪く大型店まで行くのが大変な客の来店頻度が高まっている。全体としては、豪雪が来客数、買上点数、客単価に良い影響を与えている。

（衣料品専門店）…中旬まではセール品を中心に販売量が伸びていたが、セール品が品薄になるにつれ、売上も落ちてきている。春物は前年に比べ動きが遅いため、全体的にみると販売量が落ち込んでいる。

（観光型ホテル）…例年であればオフの時期であるが、今年は雪の心配もなく、県外からの復興支援ツアーの客や県内被災者などの利用で入込が好調となっている。

（都市型ホテル）…引き続き、震災復興関係で、宿泊、レストラン、宴会共に前年を上回る入込となっているが、顧客企業からは業績悪化等の理由によりキャンセルも出始めている。

（タクシー運転手）…夜間の乗客が非常に少ない。また、乗客があっても短距離客ばかりで、長距離客はほとんどいない。

- (食料品製造業) …業界全体で商品の動きが鈍く、新製品の発売が活発である。
- (電気機械器具製造業) …短期的には復興景気で受注が増えているところが多い。
- (建設業) …震災復興工事に加え、除染作業前の事前調査業務案件が多数発注されている。
- (金融業) …歴史的な円高や電子部品の受注低迷を背景に工場の閉鎖や業務委託契約の解除などの影響が出ている。
- (飲食料品卸売業) …駅前や繁華街における飲食店の好調は依然継続しており、地元銘柄の清酒については供給が追い付いていないほどである。
- (新聞社〔求人広告〕) …雇用意欲も業種によるばらつきが顕著である。エコカー補助金制度が復活した自動車ディーラーは好況を背景に採用計画もあるが、円高で打撃を受けている製造業は採用意欲がない。
- (職業安定所) …新規学卒者の募集求人は増加しているものの、大手製造企業で雇用調整の動きがある。

## ○「やや悪くなっている」

- (商店街) …1月中旬～2月上旬はやや穏やかな天候で春物婦人服を中心に動き出した矢先、寒波、降雪と逆戻りし、除雪用具や長靴類は日本海側の豪雪地域にシフトしたため、売れる商品が無い状態になっている。今年は天候の読み違いでやや不調である。
- (スーパー) …客単価は上がっているものの、客の買物は特売等のセールに合わせた動きになっている。特に調味料や雑貨類等の買い置き商品はセールに合わせて買う傾向が更に強くなっている。
- (酒類専門店) …土地柄、ある程度の降雪がないと経済も回らない季節だが、今冬はまれにみる大雪で、除雪費や灯油代などの出費がかさんだことに加え、四六時中、雪かきに追われ、飲食店の客足が伸びない。そのため、必然的にアルコール類の販売量が伸びない悪循環になっている。消費者からは余裕が全くうかがえない。
- (ガソリンスタンド) …原油価格高騰の影響もあり、買い控えが相当あるとみている。特に、メーカーは価格をどんどん上げてきているので、価格対応が追い付かない状況である。
- (都市型ホテル) …例年よりも降雪量が多く、その影響が少なからず出ている。一部、デパート地下に出店している総菜店では消費単価が上がっているものの、総体的には当館への来客数は少なく、キャンセルも出ている。特定要因を除けば、消費者マインドは依然として冷え込んでおり、景気回復はほど遠い状況である。
- (旅行代理店) …前月までの需要とは明らかに異なり、販売量が伸び悩んでいる。ここにきて鈍化しているようである。
- (通信会社) …新規加入は前年並みであるが、前月から続く大雪の影響もあり、3か月前と比べると客の加入意欲が鈍っている。特に光熱費等の出費が異常に多くなっているためか、新たな出費を控えている人が多いようである。
- (出版・印刷・同関連産業) …印刷の仕事は3か月前と同様に前年比 20%減となっており、それを印刷以外の仕事でカバーしている状態である。
- (輸送業) …災害復旧にめどがついて、希望が持てる状況になってきたと思っていたが、一部荷主が円高の影響を受けており、生産が計画通りにいかないのではないかと不安要素が出てきている。

## ○「悪くなっている」

- (寝具販売店) …客先を訪問して回っても、商品に対する購入意欲がうかがえず、商品が動かない。
- (住関連専門店) …耐久消費財に力を入れるという客の数が減ってきているようである。買い控えに加え、前年に安売りの店がオープンしたことの影響もあるようである。

## (2) 先行き判断理由

### ○「良くなる」

- (乗用車販売店) …エコカー補助金制度の復活が決定したことにより、しばらくは販売増が期待できる。
- (飲食料品卸売業) …冬の今でさえ大変好調なので、春を迎え復興関連の土木事業が本格化すれば、工事関係者らによる市場人口の更なる増加により、飲食需要の面で今以上の復興景気が予想される。

### ○「やや良くなる」

- (スーパー) …前年は震災の影響で商品が十分にそろわなかったが、今年はそういったことがなく十分な販売が期待できるため、前年に比べ数字は良くなる。
- (コンビニ) …主婦層において、総菜やサラダ関係に手が伸びており、財布のひもが少しゆるくなっている様子が見受けられる。また、買上点数及び客単価のここ2、3か月の推移をみても、この先やや良くなると判断できる。
- (都市型ホテル) …今月に入り祝賀会が多くなっていることから、自粛ムードは脱したのではないかとみており、この先の歓迎会や送別会についても期待が持てる。また、周年記念も含め、今年は予約が早目に入っている。それにつられて料飲関係や宿泊も堅調に推移するのではないかと予想している。
- (住宅販売会社) …前年末から大手ロードサイドショップ及びスーパー等の出店の動きが活発で、隣県も含めた不動産の検索依頼がかなり多く、民間建築は忙しくなるとみている。
- (建設業) …新年度に入り転入や転出もあることから、リフォーム等の工事の引き合いがきている。また、耐震補強の工事も続いているため、やや良くなるのではないかと期待している。
- (企画業) …住宅関係においては、大工の確保が進展したことにより、被災地の潜在的住宅需要に供給体制が整ってきている。現在は需給バランスで見ると需要が上回っている状況であり、先にも期待が持てる。
- (職業安定所) …求人意欲が上昇してきていることに加え、災害復旧工事の影響もあって、人手、資材共に不足がちであり、特に建設業では工期の遅れなども出ている。そのため、求人数の動きはやや良くなるのではないかとみている。
- (職業安定所) …求人数の増加に加え、求人件数、求人事業所数も増加してきている。また、震災関係の支援事業にかかる求人もあり、今後も求人は増加する見込みである。

### ○「変わらない」

- (百貨店) …震災から1年が経過するので、前年比で見ると今までのような2けた増にはならないが、復興に関わる予算も決定したなかで、引き続き景気は安定して推移していくとみている。また、春夏物衣料の買換え需要が続くと予想している。
- (スーパー) …震災復興とともに、被災した地域でも新たな商業施設の建設、開店が進んできており、震災特需は徐々に薄れてくることが予想される。特に小売業では更に価格競争が激化し、既存店の売上は厳しくなる。
- (衣料品専門店) …単価ダウンの傾向はこれからも続くと見ている。また、高額商品には期待できない。
- (乗用車販売店) …エコカー減税及び補助金の効果と新型車効果で、現状の水準が続くとみているが、昨今の雇用情勢やガソリン価格の高値安定により、需要構造としては先食い状況であり、また、低価格の低燃費車に集中していることも懸念される。
- (関連専門店) …売上が上向きの状態は2、3か月後も継続するとみている。震災で壊れた住宅の建て直しが進んでおり、仏壇を購入する客はまだいると見込んでいる。
- (ガソリンスタンド) …原油価格が高騰しているため、末端への転嫁が遅れれば収益を圧迫する状況が当面続きそうである。夏場に向かい需要は後退するが、省エネの動きがさらに加速されそうな状況で化石燃料への依存は減少する時代の流れに変化はなく、需要減退傾向に拍車がかかるとみている。
- (スナック) …歓送迎会のシーズンで団体が動く時期になるので、売上は期待できる。しかし、4月か

- らは製薬会社による医師への接待の自主規制が強化されるため、差引ゼロになる。
- (都市型ホテル) …当初予定されていた大会や学会、ブロック会議等の開催が、震災復興支援の一環として東北他県に変更となっている。今後1年はこの傾向が続く模様である。
- (リフォーム業) …受注後の残工事を消化することで例年の閑散期が繁忙期並みの完工となっている。このまま繁忙期に差しかかっていくことで、しばらくは現在のような状況が続くとみている。
- (食料品製造業) …消費者の節約志向により、嗜好食品の購入に慎重な傾向が続く。
- (電気機械器具製造業) …受注価格の低迷はおよそ半年は続くとみており、2、3か月先の景気は現状維持の見通しである。
- (司法書士) …不動産取引件数が低迷しており、住宅着工件数の伸びも期待できない。
- (人材派遣会社) …宅建の資格保持者が採れなかったり、土木の施工管理者、建築士の人数が足りないなど、人が採用できず、思うように仕事を受けられない企業が出てきている。人材不足が景気にブレーキをかける懸念がある。

### ○「やや悪くなる」

- (スーパー) …今月末には近隣に競合店の出店、数か月後には大型店の進出が決まっているため、価格競争、顧客獲得競争はますます厳しさを増していく。
- (コンビニ) …被災による居住人口の変動や一部業種の復興需要のため、売上は好調に推移しているが、復興が進んだ結果として地域経済が良くなっているという印象はない。東日本大震災の影響が一巡してくると、地域間格差がより顕在化し、全体としては悪くなっていくことが懸念される。
- (都市型ホテル) …大手電子部品メーカーの関連工場6か所の閉鎖が決まっており、ホテル業にどの程度影響してくるのか懸念している。全県規模で影響してくるとみており、会合等もなくなり、人の移動に伴い結婚式等も少なくなるのではないかとみている。
- (一般機械器具製造業) …自動車部品については、輸出環境はやや改善が見込まれるものの、競争の激化により販売単価が低下し、採算の悪化につながることを懸念される。
- (建設業) …今回の官庁工事の発注急増で量的には一段落するも、人手不足やコストアップ等の影響が表面化することが懸念される。
- (輸送業) …荷主から、コスト削減への努力を求められていると同時に燃料高、車両装備品の値上げもあり、ますます厳しい局面が予想される。
- (新聞社〔求人広告〕) …東北でも東日本大震災の被害がなかった当県では復旧需要の恩恵もない。今後、人や物、金が被災県に集中し、経済的に取り残されそうで不安である。

### ○「悪くなる」

- (乗用車販売店) …エコカー減税は延長されるものの対象車種が絞り込まれるため、現行制度の適用終了による販売量の落ち込みが予想される。
- (出版・印刷・同関連産業) …取引先からの需要が減少しており、印刷の仕事の増加は見込めない。原発事故対応の予算に対して、関連する仕事をいかに受注できるかがポイントになってくる。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上